



京都ノートルダム女子大学
Kyoto Notre Dame University

公開講座2023

ND
わたしらしく、誇らしく
Be Notre Dame, Be Myself

コスチューム デザインの 世界

— 装いの心理的機能とその効果に着目して —



松田 優 MATSUDA, Masaru

現職: オペラ舞台衣裳デザイナー・地域デザインプランナー
兵庫県西宮市プレラホール運営管理統括
株式会社アトリエMIC代表取締役
神戸国際大学経済学部客員教授

日時

2023年
11月26日(日)

14:00-16:00 (開場13:30)

場所

京都ノートルダム女子大学
ユージニア館 ND ホール

当日はオペラ舞台衣裳・デザイン画を
展示し、間近でご覧いただけます。

参加無料

事前申し込みは不要です。どなたでも参加できます。
(途中入退室可能)後日、ネット配信も予定しています。

〒606-0847 京都府京都市左京区下鴨南野々神町1 [交通アクセス]京都市営地下鉄烏丸線北山駅1番出口から東へ徒歩7分

主催/京都ノートルダム女子大学 図書館情報センター
後援/京都市、京都新聞

<https://www.notredame.ac.jp/>

コスチュームデザインの世界

—装いの心理的機能とその効果に着目して—



2023年11月26日(日) 14:00~16:00 (開場13:30)



装いとは、見た目を変えるために用いるすべてのものやその行為を意味します。装いの中には、日常、私たちが身につける服や化粧品があり、その他にも、かぶりものや髪きもの、ヘアスタイル、かつら、ひげ、アクセサリーなど、頭のでっぺんから足の先まで、身につけているものは全て装いに含まれます。

装いの心理学的研究は、日本では1980年代から盛んに行われるようになりました。現在までの研究から、装いの社会・心理的機能には、①自己の確認・強化・変容機能、②情報伝達機能、③社会的相互作用の促進・抑制機能の3つがあることが明らかになります。私たちが、日頃、身につけている服は、研究の中では、被服、衣服、衣裳(衣装)と呼ばれ少しずつ違う意味を持ちます。被服は、身体の外見を変えるために用いるすべてのもの、衣服は、主に身体を覆う主要部分を覆う被服、衣裳(衣装)は特定の場を意識して一揃いになった衣服をさします。舞台衣裳や花嫁衣裳など、着ることによってその人物が何者であるかを伝える衣服です。衣裳(衣装)はコスチュームと呼ばれ、コスチュームは3つの機能を最大限に果たすことにより、着る人の芸術的表現と結びつき、人々に感動を与えます。

この公開講座では、オペラ舞台衣裳デザイナーの松田優氏をお迎えし、衣服と衣裳の違いや種類、舞台衣裳が演者や観客に与える影響や効果について、舞台の現場における興味深い数々のお話を伺います。

どうぞ、華麗なるコスチュームデザインの世界をお楽しみください。

登壇者

松田 優 MATSUDA, Masaru

現職：オペラ舞台衣裳デザイナー・地域デザインプランナー
兵庫県西宮市プレラホール運営管理統括
株式会社アトリエミック代表取締役
神戸国際大学経済学部客員教授



略歴：2001年 舞台衣裳のデザイン・衣裳製作・現場操作までを総合プロデュースする(有)アトリエミック設立 (2005年 株式会社に改組)現在、株式会社アトリエミックでは舞台衣裳、文化振興、教育事業を展開している。2018年より兵庫県西宮市プレラホールを運営管理、2010年度 兵庫県芸術奨励賞受賞。

主な活動・研究業績：各地のオペラ公演で、デザインから衣裳の総合プロデュースに携わり、各オペラ衣裳を所蔵している。オペラ以外にも、演劇、ミュージカル、テーマパーク等の衣裳、美術館・ギャラリー等の衣裳設営など、幅広く手がけている。西宮市プレラホールでは自主公演のプロデュースはもとより、舞台機構・施設維持管理等も行う。またミックイングリッシュでは音楽と英語をとり混ぜたオリジナルメソッド・教材を使用し、英語リトミック、スクールを展開している。

専門分野：芸術実践論、舞台衣裳、アートマネジメント・マーケティング
主な著書：マーケティング講義ノート

牛田 好美 USHIDA, Yoshimi

現職：京都ノートルダム女子大学現代人間学部長
現代人間学部生活環境学科教授



略歴：京都ノートルダム女子大学卒業、関西大学大学院修了、博士(社会学)。京都ノートルダム女子大学生活文化学科助手、京都成安女子短期大学講師、准教授、京都成安造形大学准教授を経て2008年より京都ノートルダム女子大学専任教員。

専門分野：装いの社会心理学
主な著書：『化粧と被服の社会心理学』
『21世紀の社会心理学シリーズ8 被服行動の社会心理学』

現代人間学部 生活環境学科

あしたの未来のくらしはわたしが創る

日々の生活がシンプルで心地よく、自分の生活やライフスタイルを大切に、ワークライフバランスが取れ、サステナブルな社会にも繋がる、そんな暮らしに幸せのヒントがあります。生活環境学科は、真の豊かさを考え、幸せの実現を追究する学科です。

入学後は1年間かけて6つの分野を幅広く学び、暮らし全体をコーディネートするための基礎を養います。

学問領域ごとにLabがあり、興味を追究するための施設が充実。多彩な実習・実験に取り組みながら専門性を高めます。

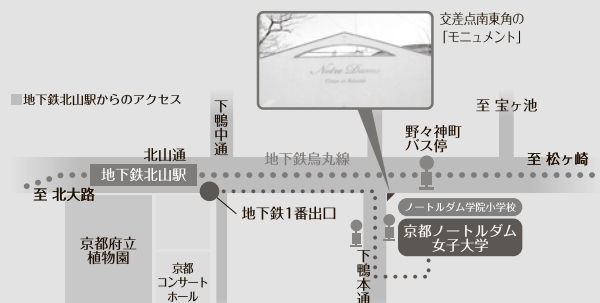
1年次の基礎を踏まえ、2年次からは学外での学びがスタートします。企業や福祉施設と連携したプレインターンシップやコンテストへの応募を通して、専門知識が社会でどのように役立つのか理解を深めます。



現代人間学部 生活環境学科のオリジナルサイトにアクセスしてください!

生活環境学科のオリジナルサイト

<https://www.notredame.ac.jp/fukushiseikatsu/seminar/>



交通ACCESS ●京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」①番出口より徒歩7分(北山通を東へ→下鴨本通を小学校・大学に沿って南へ→1つ目の角を東へ)
●市バス4号系統「野々神町」下車すぐ。もしくは、「北園町」下車 北へ徒歩5分

問合せ先/ 京都ノートルダム女子大学 研究推進課
TEL.075-706-3789 FAX.075-706-3793
E-mail:kenkyu@ml.notredame.ac.jp